**学年末考査　問題用紙**

問題１　次の①～⑤の用語について，下線部が正しいものには〇を記入し，誤っているものは正しい用語を解答欄に記入しなさい。(思考・判断・表現)

ただし，正しいものを訂正した場合は誤答とし，すべてに〇を記入した場合は5問全部を無効とする。

　　　なお，正しい用語は漢字で記入すること。

(1)標準原価計算では，無駄や非効率を排除した①予定原価を用いて製品の原価を計算し，これを実際原価と比較して求め

　　　　た②原価差異を分析することによって無駄や非効率を改善することができる。

　この②原価差異は，①予定原価による当月製造費用と実際原価による当月製造費用の差額で計算します。

(2)企業は，利益を獲得しなければ，どんなに原価を管理しても倒産してしまう。そこで，毎年一定の利益を獲得するために③販売計画を立てる必要がある。

(3)企業が利益管理のために直接原価計算および④ＢＥＰ分析をおこなう際には，原価を変動費と固定費に分解する必要がある。これを⑤変固分類という。

問題２　当社の過去６か月の営業量と原価の発生額に関する資料にもとづいて，高低点法を用いて単位あたりの変動費と月間固定費を求めなさい。なお，正常な操業度の範囲は，500時間から1,000時間である。（知識・技術）

資　料

　　　　　　月 　　操業度 原価発生額　　　月　 操業度 原価発生額

　　　　　７月 470時間 ￥*730,000* １０月　　780時間 ＾￥ *1,020,000*

　　　　　８〃 530 〃 〃*780,000* １１〃 980 〃 〃*1,230,000*

　　　　　９〃 600 〃 〃*853,000* １２〃 720 〃 〃 *980,000*

問題３　次の資料によって，①～④の問いに答えなさい。（知識・技術）

資　料

(ア) 製品の販売価格　￥*8,000*　販売数量　500個

　　　(イ) 製品１個あたりの変動費　￥*2,400*

　　　(ウ) 固定費　￥*2,800,000*

設　問

①損益分岐点の売上高を計算しなさい。

②損益分岐点の販売数量を計算しなさい。

③目標利益￥*1,400,000*をあげるために必要な売上高を計算しなさい。

④売上高の20％の営業利益をあげるために必要な販売数量を計算しなさい。

問題４　次の製品Ａを大量生産する千葉工業株式会社の資料をもとに，

(1)直接原価計算と，(2)全部原価計算による損益計算書を，それぞれ作成しなさい。(思考・判断・表現)

　　　　ａ．生産数量と販売数量

　　　　　　当月製品生産数量　1,000個　　当月製品販売数量　　900個

　＊月初製品の在庫はなかった。

　　　　ｂ．製品１個あたりの実際製造原価

　　　　　　変動材料費　￥*200*

　　　　　　変動加工費　￥*100*

　　　　　　　　　　　　￥*300*

　　　　ｃ．固定製造間接費　￥*340,000*

　　　　ｄ．製品１個あたりの販売価格　￥*1,200*

　　　　ｅ．実際販売費及び一般管理費

　　　　　　変動販売費（製品１個あたり）　￥*60*

　　　　　　固定販売費及び一般管理費　￥*64,000*

　　　　ｆ．月初仕掛品・月末仕掛品は，いずれもなかったものとする。

解答はすべて解答用紙に記入すること

問題５　次の令和○年２月の資料により，原価差異を計算し，下記の問いに答えなさい。(思考・判断・表現)

(1)各勘定と損益計算書の(　)にあてはまる勘定科目または金額を解答欄の勘定口座に記入しなさい。

ただし，ⅰ仕掛品の記帳法は「パーシャル・プラン」によること。

　　　　ⅱ使用しない（　）には，「　―　」を入れること。　例　（　　―　　）

　　　　　 ⅲ各勘定とも締め切る必要はない。

(2)仕掛品勘定の記入方法を「シングルプラン」でおこなった場合の仕掛品勘定の

　①材料費の金額，②労務費の金額を解答欄に記入しなさい。

①標準原価カード

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 標準原価カード | | | |
|  | 標準消費数量 | 標準単価 | 金額 |
| 直接材料費 | ３kg | ￥*700* | ￥*2,100* |
|  | 標準直接作業時間 | 標準賃率 |  |
| 直接労務費 | ２時間 | ￥*1,100* | ￥*2,200* |
|  | 標準直接作業時間 | 標準配賦率 |  |
| 製造間接費 | ２時間 | ￥*1,500* | ￥*3,000* |
| 計 | 製品１個あたりの標準原価 | | ￥*7,300* |

②製造間接費予算

　　月間の基準操業度（直接作業時間）4,100時間

　　月間の製造間接費予算額￥*6,150,000*（変動費率￥900/時間　固定費予算額￥*2,460,000*）

　③生産データ

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 月初仕掛品 | 400個 | （加工進捗度50％） |
| 当月投入 | 2,200個 |  |
| 合計 | 2,600個 |  |
| 月末仕掛品 | 600個 | （加工進捗度40％） |
| 完成品 | 2,000個 |  |
| （注）直接材料は，製造着手のときにすべて投入されるものとする。 | | |

④当月製造費用実際発生額

　直接材料費　￥*4,824,000*（実際単価 ￥*720*　実際消費数量6,700kg）

　直接労務費　￥*4,551,000*（実際賃率￥*1,110*　実際直接作業時間4,100時間）

　製造間接費　￥*6,200,000*

⑤製品棚卸高

　月初製品棚卸高　200個 月末製品棚卸高　400個

解答はすべて解答用紙に記入すること